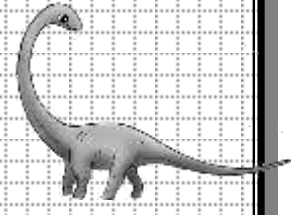


けんぱくものしりシート

琥珀



ハクちゃん

琥珀っていのね！

何の化石かな？



ケンくん

ぬの布でこすると静電気をおびます。

銅片できずつきます。



強い紫外線をあてると青く光ります。

軽くて濃い塩水に浮かびます。

火に燃え、香りを放ちます。

色は、黄、茶、赤、白、青、緑などいろいろあります。

《産出地》 久慈市和野
後期白亜紀 久慈層群玉川層



解説員

ケンくん、ハクちゃんこんにちは。琥珀は、樹木からにじみ出て固まった樹脂が、何千万年も長い間、土に埋もれてできた樹脂の化石です。



どこで見つかったの？



この琥珀は、久慈市で見つかりました。久慈地方には、恐竜が生きていた時代、中生代の後期白亜紀の地層（約8500万年～9000万年前）があり、堆積岩の中からたくさんの琥珀がとれます。大きなかたまりや質のよい琥珀がとれ、古くから掘り出されていました。埋まっている量も多く、久慈地方は、日本で最大の琥珀の産地です。





どんな木が琥珀のもとになっているの？



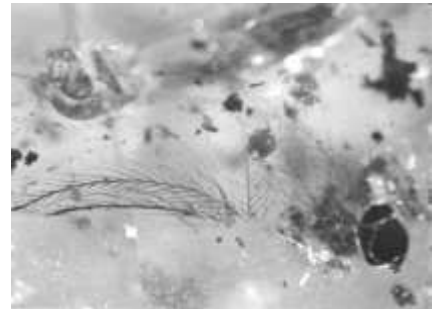
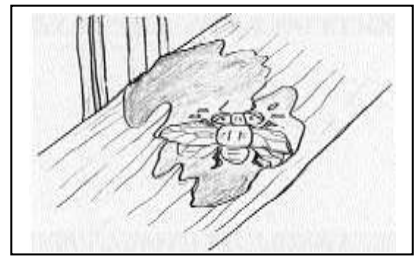
樹脂じゆしという“松ヤニ”まつ やにを思おもうかべるでしょう。でも琥珀こはくのもとになった木は、針葉樹しんようじゆから広葉樹こうようじゆまでさまざまあつて、久慈くじ地方ちほうの琥珀こはくは、スギなまの仲間なまの針葉樹しんようじゆがもとになっています。当時とうじは今いまよりも暖あたかく、久慈地方くじちほうには緑みどり豊かな森もりが広がひろっていました。



そういえば、中に虫むしが入はいっていたりするのは琥珀こはく？

そうです。ネバネバドロドロした樹脂じゆしは、流れ落ちながおる時とき、まわりいの生き物ものなどを取りことんで、そのまま化石かせきになることがあります。

久慈地方産くじちほうさんの琥珀こはくからは、アリあやハチち、ハエえ、ガがなどの昆虫こんちゆうを含ふくんだ“虫入むしいり琥珀こはく”がたくさん見みつかっています。また、世界せかいで初はめて鳥とりの羽毛うもうも発見はっけんされています。これから新発見しんはっけんがあるかもしれません。



琥珀こはくの中なかの鳥とりの羽毛うもう



すごい！



それに、琥珀こはくがでる地層ちそうからは、海トカゲうみ、モササウルスうみの仲間なまの歯はの化石かせきや、岩手県いわてけんで2例目れいめとなる恐竜きょうりゆうの化石かせきなども見みつかっています。

久慈市くじしには、「久慈琥珀博物館くじこはくはくぶつかん」があり、発掘体験はっくつたいけんなどもできますので、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



参考さんこうにした本ほん 『北上山地きたかみさんちの恐竜きょうりゆう・アンモナイト』岩手県立博物館いわてけんりつはくぶつかん 1986年
『岩手県内化石めぐり』岩手県立博物館いわてけんないかせき 1984年 他ほか

来月らいげつ (8月) の
けんぱくものしりシートは
考古-5だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>